

『この国どんな国？』



各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介する国は
「トルコ」



第5号(2008年5月 23日)

トルコの基本情報

三方を黒海、エーゲ海、地中海に囲まれたトルコは、ヨーロッパ、アジア、アフリカをひとつに結ぶ中心点に位置する国です。このため、世界中の国とつながりがあり、人の移動と交易の重要な中心地として古くから栄えてきました。トルコは長方形のような形をしており、国土面積は近隣諸国(イランを除く)および全ヨーロッパ諸国(ロシアを除く)の中で最大です。トルコの気候は温帯性気候で四季があり、異なる季節の風情を同時に楽しむことができます。例えば同じ時期に海で泳ぐことも雪深い山々を見ることも可能です。トルコは「文明の発祥地」と言われてきました。トルコには壮大な歴史があり、13にもものぼる文明の残した歴史的遺産の宝庫です。このためトルコはヨーロッパにおける主要観光地であり、毎年多くの観光客が訪れています。

首都:	アンカラ	国章:	
面積:	780,576平方キロメートル(日本の約2倍)		
人口:	7,206万人(2005年、国家統計庁推定)		
言語:	トルコ語		
宗教:	イスラム教(スンニ派、アレヴィー派)が大部分を占める		
一人あたりGDP:	6,548USドル(2007年)		
GDP成長率:	5.3%(2008年予想)		



大使館情報

面会者:

トルコ共和国大使館
メフメット・アクトゥガン経済参事官

今回お会いしたのは、トルコ共和国大使館のメフメット・アクトゥガン経済参事官です。アクトゥガン参事官は経済分野の専門家です。トルコ経済について詳しく知らない私たちにもわかりやすく説明してくれました。
(2008年4月16日に訪問)

出所: 外務省、IMF、トルコ共和国大使館



所在地:

東京都渋谷区神宮前2-33-6

JR原宿駅から徒歩10分ほどの所にあります。周辺には竹下通りや若者向けのショップが立ち並び、多くの買い物客で賑わっていました。大使館には外交官用の車が7台も止まっており、トルコ大使館の規模の大きさを実感させられました。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

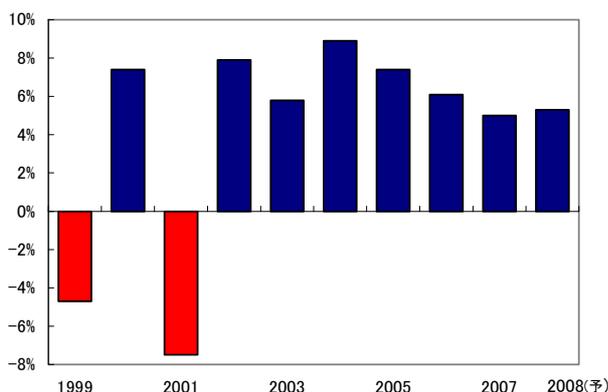


今回ご紹介する国は
「トルコ」

急速な成長を続けるトルコ経済

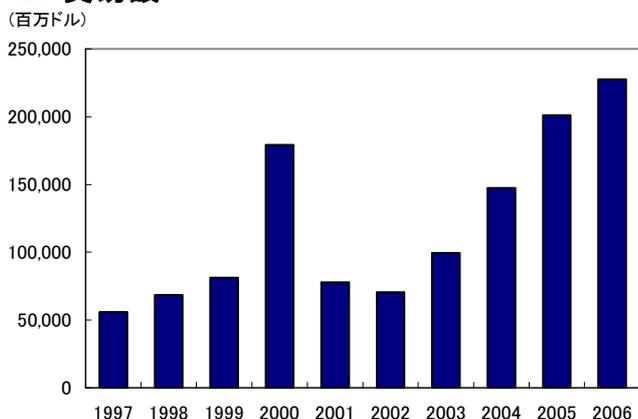
2度の金融危機を乗り越え、トルコ経済は近年急速な成長を続けてきましたが、その背景にはトルコ経済の強さを支えるいくつかの要因があります。

1. GDP成長率



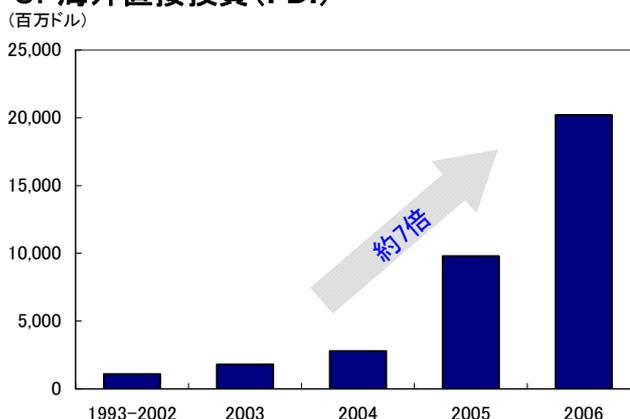
IMFの指導のもと2度の金融危機を乗り越え、2002年以降は毎年平均**7.2%**の成長を続けています。

2. 貿易額



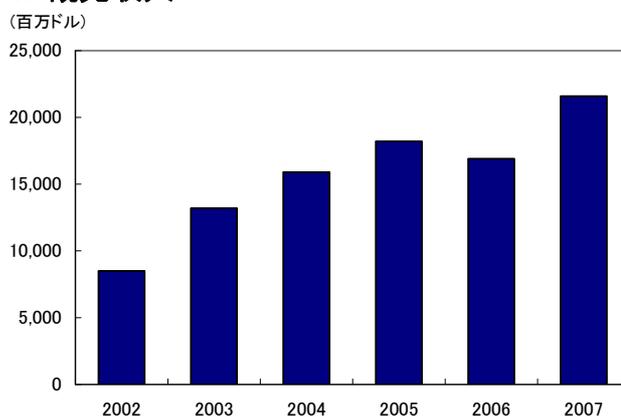
トルコでは過去5年間で外国貿易が**162%**増加し、近隣諸国への輸出が**337.9%**、近隣諸国からの輸入が**204.4%**の成長を遂げました。

3. 海外直接投資 (FDI)



政府の積極的な投資誘致政策により、トルコに流入したFDIの金額は2004年から2006年の間に**約7倍**に膨れ上がりました。

4. 観光収入



トルコの観光収入は年々増加しています。2007年には休暇を過ごしたい行き先の**世界第9位**にランクされ、**2,330万人**の旅行者がトルコを訪れました。

出所:トルコ投資支援推進機関、IMF World Economic Outlook、Global Stock Markets Fact book



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は
「トルコ」

トルコ経済の強さを支える要因①

1. 立地

トルコはヨーロッパ、アジア、アフリカを結ぶ中心地点に位置しており、移動時間3時間以内の範囲には**人口約12億人**の巨大な経済圏が存在しています。このため、トルコは地政学的に全世界で戦略上最も重要な国のひとつであり、交易の中心地として古くから栄えてきました。

現在は、湾岸地域、中央アジア、ロシアから**毎年350-400億立方メートルの天然ガス**をヨーロッパに、そして**2億5000万-3億トン**の石油を世界中に輸出しています。



ヨーロッパを中心とした巨大経済圏

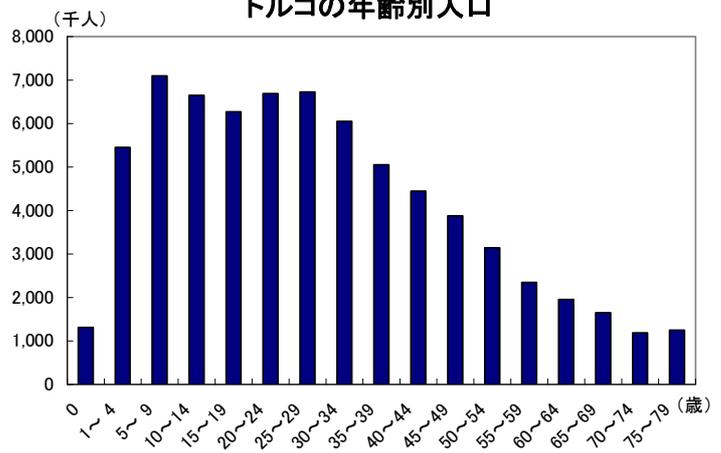


さらに、現在複数の**巨大パイプラインプロジェクト**（左図）が進行中であり、これが完成すれば世界の石油・天然ガス供給元として、さらなる発展が期待されます。

2. 労働力

トルコは総人口約7,000万人のうち、**34歳以下が65%**、**平均年齢29歳**という非常に若い国です。労働人口は2006年に**約2,470万人**に達し、ヨーロッパ**27カ国中4番目**の規模を誇っています。大学卒業者は毎年約40万人で、若くて、優秀でやる気に満ちた労働者が豊富です。労働者の人件費は他のヨーロッパ諸国と比べて非常に高い競争力があり、安定しています。また、労働生産性が非常に高く、トルコは世界で最も欠勤率が低い国のひとつとされています。

トルコの年齢別人口



出所:トルコ共和国大使館、トルコ投資支援推進機関、総務省統計局



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は
「トルコ」

トルコ経済の強さを支える要因②

3. 政策

2006年にトルコはFDI(海外直接投資)に関して最も魅力的な国の**世界第13位**にランクされました。政府はFDIを国の経済発展に必要なものと考えており、政府主導で積極的な誘致政策を実行しています。

政府による主なFDI(海外直接投資)誘致政策

- ・ 国際交易ルートにも交通の便がよい20箇所のフリーゾーンの設置
- ・ インフラ設備の提供
- ・ 許認可手続きの簡略化
- ・ 研究開発活動などから生じる利益に対する税金の免除
- ・ エネルギー支援の提供
- ・ 輸出品加工業者に対する関税の免除、及び安価な原材料の供給
- ・ 首相直轄の投資支援推進機関による全面的なサポート

このような努力の結果、製造業を中心に世界中から多くの企業がトルコに進出していますが、最も盛んな自動車産業においては、日本の**トヨタ自動車**が2006年に総額25億ドル以上の輸出を行っており、トルコにおける**自動車輸出額第1位**を誇ります。

トルコ進出日本企業の一例

名称	業種
トヨタ自動車	自動車
本田技研	自動車
いすゞ自動車	自動車
ブリヂストン	タイヤ
ソニー	電機
三菱商事	商社
三井物産	商社
住友商事	商社
丸紅	商社

出所:トルコ共和国大使館、OECD、トルコ投資支援推進機関

番外編

トルコと言えばやはり、世界3大料理のひとつでもあるトルコ料理が有名です。近年東京都内を中心に日本でもトルコ料理の屋台(シシケバブ)やレストランをよく見かけるようになりましたが、トルコ大使館のメフメット・アクトウガン経済参事官にこっそりお薦めのレストランを教えてくださいましたので、紹介致します。

トルコ料理「ハレム」

所在地: 東京都港区北青山2-3-1 C1プラザB1

TEL: 03-5786-2929

URL: www.harem.co.jp

営業時間: 月～土 11:30-14:30/ 17:30-23:00



訪問を終えて

トルコは過去の歴史的な経緯から親日派の多い国だと言われます。トルコに日本からの進出企業が多いのも、地理的優位性、経済環境などの理由に加えて、トルコ人の人柄、風土、生活環境などプラスαの理由があるのかもしれませんが、世界的なエネルギー資源需要の高まりを受け、それらの供給元として今後ますます発展が期待されるトルコから、しばらく目が離せません。

(これらは全て2008年4月末現在の情報です)



取材・編集: スパークス・アセット・マネジメント(株) 事業開発部 投信グループ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。